

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人明徳会 ゆたか学園		
○保護者評価実施期間	2025年11月26日		2025年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	～		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	登園意欲が高く、お子様が安心感を持って楽しく過ごせる居場所作り	写真やカードを用いた環境の構造化や、スモールステップでの支援により、見通しを持って活動できる安心感を提供しています。お子様の特性やペースを尊重し、無理のない援助で「できた!」という成功体験を積み重ね、自己肯定感を育んでいます。	園での成長や楽しんでいる様子を写真で可視化し、保護者様とお子様の楽しさと、安心感を共有できる仕組みを検討します。
2	専門的な視点と共感的な関わりによる、保護者との深い信頼関係	お子様の情緒に寄り添う受容的な関わりを徹底し、全職員が一貫した体制で一人ひとりの発達を支えています。連絡帳や送迎時の対話を通じ、園と家庭での様子を丁寧に伝え合うことで、共通理解に基づいた支援を実践しています。	ST・OT等の専門知見を全職員で平準化し、個々の特性により適合した「根拠のある支援」を組織的に提供し続ける体制を強化します。
3	クラスを越えた協力体制と、密な情報共有による柔軟なチーム連携	朝礼や終礼での情報共有を徹底し、人員配置や共有スペースの調整を各クラス間で協力して柔軟に行っています。ヒヤリハットの毎日共有や共同での活動立案を通じ、安全確保と支援の質向上をチーム全体で追求しています。	振り返り時間の確保とPDCAサイクルの仕組み化を推進し、現場の気づきを迅速に支援計画の改善や業務効率化へ繋げます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	限られた室内スペースの有効活用と環境構造化の工夫	全体で利用できる空間が限られており、特に集会室や園庭の使用にはクラス間での細かい時間調整が必要です。部屋を区切るものが主にロッカー等に限られ、個別の安心スペースや効果的な構造化の構築にハード面の制約があります。	ロッカー以外の可動式パーティション等の導入を検討し、お子様が活動の見通しを持てる環境設定を工夫します。職員が懸念する危険箇所の点検と修繕を計画的に行い、安全かつ落ち着けるコーナー作りを進めます。
2	支援の質を向上させるための、多角的な振り返り時間の確保	現場の体制がギリギリになることがあり、特に担任全員が揃って深く話し合う時間を確保することが困難な現状があります。日々の直接支援が優先され、支援終了後の振り返りやPDCAサイクルの実施が口頭のみで留まりがちです。	効率的な会議運営や「振り返りタイム」の固定化を図り、質の高いチーム検討の時間を保障する仕組みを作ります。新人職員へのフィードバック体制を強化し、全職員が共通認識を持って支援計画の改善に取り組みるようにします。
3	地域交流の積極的な再開と、きょうだい児支援の具体的な実施	コロナ禍以降、地域住民の招待や外部との直接的な交流機会が限定的なまま継続していました。きょうだい児同士が交流する場や、園庭開放などの具体的な機会を設けるまでには至っていませんでした。	近隣施設との交流保育の充実や地域行事への参加を計画的に進め、お子様の社会性を育む機会を創出します。土曜参観時の交流や園庭開放など、きょうだい児が園の環境に触れ、家族が安心して参加できる場を検討します。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人明徳会 ゆたか学園

公表日 2026・3・31

回収率 74%

利用児童数 58

回収数 43

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	40	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭や集会室でのびのびと、思いっきり体を動かすことができ、本人もとても楽しそうです。</li> <li>・広い園庭や集会室があり、また先生方も多く配置して下さるので、安心して伸び伸び遊ぶことができている。とてもありがたいです。</li> <li>・園庭や集会室でも、のびのびと過ごせています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の環境を維持し、安全に配慮してまいります。</li> </ul>
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	38	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任の退職・休職が続き不安だと言う意見を耳にしました。新入園児クラスなどは特に園にも慣れない為、職員の入れ替わりを2年目以降のクラスにしたら園に理解のある保護者と先生とで乗り切れるかと思っています。職員のご家庭も優先し継続勤務できる環境であって欲しいと願います。</li> <li>・一人一人細かいところまで見て頂き、安心しております。今年度は特別かもしれませんが、担任がコロナと変わり、本人だけでなく保護者も動揺の声が多数聞かれました。なるべく、少なくとも主担任は固定であると助かります。</li> <li>・いつも手厚く見てもらえて感謝しています。先生の専門性が非常に高く、よく助言して下さるので、相談はしやすいですし、安心して子供を預けられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の定着率向上のための職場環境改善を強化し、交代時は十分な引継ぎ期間を設け、不安軽減に努めます。</li> </ul>
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障がい特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	42	0	1	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的な分かりやすさ（構造化）を継続し、お子様の障がい特性に合わせた環境設定を個別に見直していきます。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室のベランダに椅子や遊ぶ物が出ていたりするのが個人的に少し気になりますが、収納スペース等の観点でそこしか無理そうなのだろうと考えております。</li> <li>・子ども達が安全に過ごせるよう、また理解しやすいような生活環境作りがされていて、とてもありがたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッドスペースの有効活用による収納スペースの確保を検討します。</li> </ul>

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	6	1	0	<p>可能であれば、ST・OT・PTが在籍中にもっとあれば幸いです。</p> <p>・PT,OT,STの先生が常勤でいてくださると今より更に心強いです・子供の得意なところ、不得意なところを把握し、適切な物品を使い支援して頂いて感謝しております。</p> <p>・子どもの小さな成長にもたくさん気づいて下さり、工夫すべき育児ポイントなどを定期的な面談でも詳しく教えてくださります。</p> <p>・子供の特性に合わせて様々な配慮をいただいで、成長に繋がっていると嬉しいです。学習会も大変勉強になってありがたいです。もし可能でしたら、常勤のSTさんがいればさらに適切な支援を提供できると思います。</p> <p>・子供の特性や変化、成長を良く観察して下さり対応を工夫して頂いて感謝しております。</p>	<p>・ST,OT,PT等の専門の職員はおりませんが、外部のST,OTの先生からの助言や研修を受け、日々の活動に専門性のある支援を行うようより努めます。</p>
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43	0	0	0	<p>・園の先生方は、個々に合わせてしっかりと向き合ってくださっていると感じます。</p> <p>・十分合っていると思います。</p>	<p>・「一人ひとりに丁寧に向き合っている」という評価を維持するため、一貫性のある支援を継続します。</p>
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	0	0	0	<p>・先生方の支援を自宅に取り入れる事で連携が身についている気がします。</p> <p>・支援計画を読み、親自身もとても勉強になっております。客観的な視点から見た意見を時間をかけてゆっくりと説明して頂き、現在の課題を視覚化できることで園と保護者の目標が一致でき、よりより支援に繋がっていると思います。</p> <p>・子供の苦手分野・課題についても、しっかり見てくださるので保護者として気づきも多く有難いです。</p> <p>・支援計画書を読みながら、子どもの強みや、今後の課題を客観的に把握することができ、とても参考になります。</p> <p>・支援計画について話す面談では子供の課題を共有できてとても参考になっています。</p> <p>・お子さん一人一人に対し、注意深く観察して計画を立ててくださっているのが本当によく分かります。お陰で我が子のコミュニケーションも取りやすくなりましたし、子供達同士の関わり方も以前よりぐっと上手になりました。</p>	<p>・保護者の方の「学びや気づき」につながっているという点は非常に素晴らしい成果です。今後も計画作成時の聞き取りを丁寧に言い、家庭と園で共通の課題や目標を持てるよう努めます。</p>
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	41	1	0	1	<p>・毎回明確に設定されていて、連携とりながら実行していただいています。</p>	<p>・5領域（本人、家族、移行支援等）を意識した明確な設定を今後も継続します。定期的なモニタリングを通じて、計画が形骸化しないような支援を行います。</p>
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	42	1	0	0	<p>・連絡帳で気になることを教えてくださりとてもありがたいです。</p> <p>・子供の一歩前進、一歩後退にも合わせて、支援の仕方を試行錯誤して下っているので、短期・長期目標のクリアに繋がっています。とてもありがたく、嬉しいばかりです。</p>	<p>・「後退」も含めた柔軟な試行錯誤を評価いただいているため、連絡帳でのやり取りを今後も密に行います。結果だけでなく「現在どのような過程で支援しているか」の共有を大切にします。</p>
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	1	0	0	<p>・季節毎や行事を楽しんでいると感じます。</p> <p>・月毎の取り組みが豊富で、色々な活動・遊びを経験させてくれてありがたいです。</p> <p>・季節のイベントを中心に、いろいろな活動をしてくださっています。</p>	<p>・月案、季節、行事等をもとに個々のこどもの事を考慮しながら、活動内容を見直し、活動プログラムが固定化しないように工夫しています。</p>

保 護 者 へ の 説	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	43	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流保育を見学できたらいいなと思います。</li> <li>・こぼと保育園との交流は数回行われていてありがたいです。</li> <li>・とても嬉しそうに話してくれます（まだ何言ってる分かりませんが）。とても充実したプログラムで進めてくださっているのが、子供の反応を見て伺えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流先の園との調整が必要ですが、可能であれば、当園での交流保育の日の参観について検討を始めます。</li> </ul>
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	3	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすく、丁寧に説明して頂いております。</li> <li>・面談の機会はとてもありがたく、日々の不安も聞いていただけるので、とてもありがたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、形式的な説明に留まらず、保護者の想いに耳を傾ける姿勢を大切にします。</li> </ul>
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング ※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	42	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長い目で見て、就職のことやグループホームの事など、就学のその先についての勉強会があるといいなと思います。</li> <li>・学習会や参観の機会があり、普段の子供の様子が見られたり、先生の情報共有をしたり出来るので助かっております。学習会では専門的な立場からお話をして頂き、とても役に立っています。</li> <li>・お忙しい中、勉強会などを開催して下さります。</li> <li>・たくさんの学習会があって参考になります。もし可能でしたら、兄弟児向けのイベントあれば是非参加させたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状のとおり、保護者向けの学習会や懇談等で情報提供の機会を設け、維持します。</li> </ul>
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	42	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任の先生が行う家庭訪問があればと思います。日頃と園との比較情報共有のため、そこでお話し出来たら幸いです。</li> <li>・連絡帳、保護者会後のクラス会等で情報共有出来ていると思います。連絡帳のメモ欄に記載したことに対し、迅速にかつ臨機応変に対応して頂いているので助かります。</li> <li>・お便り帳で情報共有ができてとてもありがたいです。</li> <li>・連絡帳はもちろん、園に迎えに行ったときなど、先生方が会いに来てくれて色々教えてください。とても嬉しいです。子供の変化をしっかり見ていただけているという信頼感でいっぱいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との定期的な面談、おたより帳、電話等の連絡により、こどもの健康や発達についてより密に共通理解をする姿勢を維持します。</li> </ul>
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイスをたくさん頂けるのでありがたいです。</li> <li>・面談、クラス集まりの際に普段の園の様子を詳しくお話して下さるので有り難いです。毎日のおたよりちょうでも活動の様子を書いてくださるのでイメージしやすく助かります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談や参観時、クラスの集まり、電話連絡、連絡票等で保護者からの相談に適切に応じ、「いつでも相談できる体制」であることを維持します。</li> </ul>
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがたすぎるほどに、子どもに愛情を注いでくださっています！！感謝しかありません。</li> <li>・今のクラスの担任だけではなく、今までの担任の先生や他のクラスの先生も、子供に気をかけてくださって、子供にとって素晴らしい環境だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもや家族の気持ちに寄り添いながら、担任だけでなく園全体で支援を行うよう維持します。</li> </ul>

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	37	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会で他クラスの保護者の方とお話する機会があり、就学に向けての話など参考になります。</li> <li>・毎月の保護者会は、はじめ負担に思っていました。今では「今度聞いてみよう」「相談してみよう」ととても心強く感じるようになりました。一般的に理解される悩みではないからこそ、保護者さんとの繋がりができて感謝しています。</li> <li>・保護者同士の交流の機会は多く有難いです。ただ平日ばかりなので、土曜日にももう少し開催してもらえると、お仕事される方や父親の参加がもっと多くなるのではと思います。</li> <li>・保護者会やクラスあつまりで他の保護者と交流できて、お互いに支え合っています。きょうだい見向けイベントの開催があったらとてもありがたいです。</li> <li>・保護者会が毎月月初頃にあるため、仕事の関係であまり参加出来ておりません。これは園でなく保護者会側への要望となってしまいますが、月初だけでなく、中旬以降の開催もあればありがたいです。</li> </ul>	・要望のあった「きょうだい見向けイベント」を年度内に1回以上企画し、家族全体の支援に取り組みます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師より、経過観察を要した場合はご協力いただき感謝しております。</li> </ul>	・相談等があった場合は、迅速かつ適切に対応します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	40	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や日頃の様子を写真にて見る機会がより増えれば嬉しいです。</li> <li>・今年度は、年間スケジュールがありとても助かりました。またホームページもリニューアルが見られて良かったです。</li> <li>・全て紙媒体なので、電子媒体に移行して良いのではと思います。</li> <li>・取り組みカレンダー園だよりはわかりやすいと思います。今年は初めて年間行事のカレンダーをいただいてありがたかったです！SNSよりは、例えば保護者専用ページなどで普段の様子の写真などが見れたら嬉しいです。</li> <li>・普段の様子は年2回の学習会だけではなく、もっと見られる機会があると嬉しいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の学習会以外にも、活動の様子を電子媒体で配信できる体制を整えます。</li> <li>・紙媒体だけでなく、電子媒体も併せた形での情報発信に努めます。</li> </ul>
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	0	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	41	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症が発生した時にLINEで知らせていただくのはすごく助かっています。が、その後の状況も知れるともっと助かります。(感染症が落ちてきたなど)</li> </ul>	・今後もLINEでの保護者への周知を維持します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	43	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんと行われています。</li> </ul>	・現在の取り組みを継続します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	41	2	0	0		

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	41	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうしてこんな怪我をしたのか分からない時がある時があり親としては不安です</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いつ、どこで、誰が、何をしていた時に、どうなったか」を客観的に説明し、再発防止に努めます。</li> </ul>
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	43	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園は楽しめる居場所の一つになっており、中でもバス通園がお気に入りです。</li> <li>・ 毎日笑顔で、とても楽しく通園しており、親としてはそれがなにより嬉しいです。</li> <li>・ 毎日バスに乗るのが楽しみようです。</li> <li>・ ゆたか大好きです・帰宅した後や休園日はいつもゆたか園に行きたいと言うくらい、大好きな場所です。子供が楽しく通園している事が親にとってとてもありがたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちが毎日の活動に見通しもてるように、また職員が子どもの気持ちを受け止め「自分の居場所」と安心でき、楽しくすごせるよう努めていきます。</li> </ul>
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	41	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リュックを自分で装着して、バス停まで走って行きます。</li> <li>・ 平日は『ゆたか学園』休日には『ゆたか学園お休みです』と自分から言っています。同じクラスの子の名前や、先生の名前をにこにこつぶやきながら楽しんで通ることが伝わってきます。</li> <li>・ 先生やお友達存在、自分のバスなどたくさん事を覚えてきたので毎日がとっても楽しいみたいで、お休みの土日も登園したがるくらいです。</li> <li>・ 幼稚園に通っていた頃と比べると表情が全部違います。毎日楽しそうに通ってくれています。本人に合わせた無理のない援助が、子供にとっても安心感に繋がっているのだと思います。</li> <li>・ 私の知らない歌をリズムに乗ってうたっている姿をみると本当に園での生活が充実しているんだな、と感じています。</li> <li>・ ニコニコで先生の名前を言ってくる様子から、安心して要望を伝えられる関係を作ってくださっていることがよく分かります。</li> <li>・ 通園バスが大好きで、行き渋りも全くなく毎日楽しく通っています。</li> <li>・ とてもとても楽しみにしていて、園バスが見えると喜んでかけ寄ります！</li> <li>・ 最近よく園でしたことについて話してくれるようになりました。いつも楽しかった！と言っています。</li> <li>・ ご機嫌にバスに乗り、降車時も、園に迎えに行った時も、とても笑顔で、先生達への甘え方を見ても、信頼し切っているのが分かります。</li> <li>・ 園バスも先生もお友達も大好きです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス通園を楽しみにし、先生や友だちの名前を口にするほど充実している点は、園にとって最大の誇りです。</li> </ul>

		<p>29 事業所の支援に満足していますか。</p>	41	2	0	0	<p>・ゆたか学園で先生方が個々の人格を大事にしてくださり、保護者として安心して預ける事が出来ました。我が子と園の子供達の成長をみれて感動しています。ありがとうございます。</p> <p>・クラスの担任だけでなく、園全体で見られるのがとてもうれしいです！ありがとうございます！</p> <p>・一時預かり事業が開始されなければ、ゆたか学園には仕事の都合上通わせることができなかったため、今年からこの事業が開始されて私はとても運が良かったと思っています。先生方は皆さんとても優しく連絡帳や口頭で相談に乗ってくださり助かっています。そして、どの先生も親子共に覚えてくださっているので安心して通わせることができ、親としてもとても嬉しく思います。本当にありがとうございます。ゆたか学園のおかげで息子の日々の成長がもっともっと楽しみになりました。これからもよろしく願いたします。・先生方が暑い中も寒い中も惜しみなく援助をしてくださり、感謝しかありません。伸び伸びと楽しく成長してくれることがとても嬉しいです。</p> <p>・担任の先生方含め、園全体で子供たちを支援していただけてと思います。色々な視点で助言、提案をしてくださるのでとても感謝しています。</p> <p>・いろいろな特性のお子さんが多く、お気遣いがとても大変だと思いますが、嫌な顔をせず、いつも先生方は笑顔で子どもと向き合ってくださいます。先生方のご無理がないか心配になるほどです。いつも本当に本当にありがとうございます。</p> <p>・のびのびできる環境と素敵な先生のおかげで、子供が年少から楽しく通っています。本当に恵まれていると思います！</p> <p>・子供だけではなく保護者にも気を配ってください、いつも寄り添って頂き大変感謝しております。</p> <p>・日々の児童発達支援に加え、一時預かり事業を行ってくださっているため、仕事をしながら療育に通わせる事が出来、とても感謝しています。</p> <p>・その都度アドバイス等も頂けて、とても感謝しています。</p>	<p>・一時預かり事業を継続し、仕事と療育の両立を支える「家族支援」の側面を強化します。また、いただいた感謝の言葉を職員にフィードバックし、さらなる支援の質向上への活力とします。</p>
--	--	----------------------------	----	---	---	---	--	---

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人明徳会 ゆたか学園		公表日		2026年3月30日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	5	各クラスで活動場所を調整し、集会所や園庭の使用時はクラス間で連携して安全な人数管理を徹底している。	空間が限られているため、可動式の仕切り（ロッカー等）以外の効果的な区切り方や、運動スペースの確保を検討する。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	5	職員間での協力体制が整っており、子どもの状態や活動内容に応じて、他クラスからの応援など柔軟な人員配置を行っている。	欠勤者が重なった際の体制維持に負担がある。よりゆとりある支援と安全確保のため、安定的な増員やフリー職員の配置が望まれる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	5	子どもの特性に合わせ、視覚的な手がかり（写真やカード）を用いた環境設定を行い、活動の切り替えがスムーズにできるよう配慮している。	老朽化への対応や、より個々の障がい特性にあった設備改修・備品選定を継続的に検討していく必要がある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	1	毎日の清掃と消毒を徹底し、季節に合わせた掲示を行うなど、子どもたちがリラックスして過ごせる空間作りを意識している。	子どもの成長に伴う活動範囲の拡大に合わせ、常に動線を見直し、安全かつ清潔な空間を維持し続ける。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	1	クールダウンや集中したい時に使用できる個別のスペースを設け、子どもの情緒の安定を図っている。	活用頻度が高まる時期があるため、限られたスペース内でより落ち着けるコーナーの作り方を工夫する。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	1	職員会議での目標設定や振り返りを通じ、現場の意見を支援計画や行事運営に反映させる体制を整えている。	日々の業務に追われ、中長期的な目標の再確認が疎かにならないよう、定期的な振り返りを定着させる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	1	保護者アンケートの結果を真摯に受け止め、職員会議で共有し、日々の関わりや支援内容の振り返りに活用している。	評価結果を具体的な改善プランにまで落とし込む。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	1	定期的な面談やアンケート、日常のカンファレンスを通じて現場の声を吸い上げ、業務の効率化や環境改善につなげている。	意見を出すだけでなく、それがどのように改善されたかを職員全体に共有し、意欲の維持を図る。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	1		R8年度より実施見込		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	1	法人内外の研修に積極的に参加し、最新の知見や技術（感覚統合、SST等）を支援現場へ還元している。	研修内容を参加者個人のものとしせず、事業所内研修（OJT）を通じて全職員で共有・平準化する仕組みを充実させる。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	1	プログラムを作成し、適切に公表を行っている。	公表内容に対する職員一人ひとりの理解を深め、実践力を高めていく必要がある。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	1	個々のニーズや課題を分析し、児童発達支援計画を作成している。	相談支援専門員の意見も交えながら、より客観的かつ丁寧に議論して作成する必要がある。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	4	子どもの状況をクラス全体で話し合い、支援の方向性について共通認識を徹底している。	児発管だけでなく、全職員が「最善の利益」についてより深く検討に参画できる体制を維持する。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	4	懇談会等での決定事項をクラス内で共有し、一貫した対応を継続している。	常に計画を意識した支援ができていないか、定期的に振り返る機会を設ける。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	4	日々の行動観察を通じたインフォーマルなアセスメントを継続的に実施している。	現在は標準化された評価ツールが導入されていないため、必要に応じて導入を検討する。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16		ガイドラインの4つの柱（本人・家族・移行・地域）を意識した項目設定に努めている。	各項目のねらいを職員間で再確認し、より具体的な支援内容へと落とし込んでいく。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16		クラス間や他クラスと共同して立案し、全体での共有・検討が進んできている。	担任全員が揃って立案する時間の確保が難しく、事後の共有になりがちなのが課題である。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16		内容を微妙に変化させるなど、子どもの興味が続くよう配慮して工夫している。	協力体制は整っているが、常に新しい刺激を提供し続ける活動のバリエーション確保に難しさを感じている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16		発達段階に合わせたグループ別活動など、適切な組み合わせを行っている。	よりきめ細やかな個別支援を充実させるためには、人員体制のさらなる余裕が必要である。		

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16		朝の話し合いの時間を設け、クラス間での連携や日課の役割分担を確認している。	日々の多忙なスケジュールの中で、より深く話し合える時間の質を高めていく。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16		クラス間で子どもの様子や日課の流れを共有し、次回の支援に活かすよう努めている。	保育後の時間が限られており、特に新人職員へのフィードバックや詳細な振り返りが後回しになりやすい。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	1	毎日の記録を徹底し、月案会議等で支援の検証と改善を行っている。	検証が口頭のみになることが多いため、PCデータの安定管理と記録の質的向上を図る。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	1	個別の支援計画に基づき、定期的に多角的な視点に基づきモニタリングを実施している。		
	24	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	1	子どもの状況を理解している者が会議に参画できるように調整している。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16		地域の関係機関との連携に向けた体制構築を意識している。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16		インクルージョンの観点をもち、他機関との相互理解を図る重要性を認識している。	職員間でも「インクルージョン推進」の定義や具体的な支援方法について、理解を深める必要がある。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16		小学校等への移行に向けて、支援内容の情報共有を図っている。		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障がい児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	16		研修等を通じて他事業所と情報交換を行い、質の向上に努めている。		
	関係機関や保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	16		定期的にST（言語聴覚士）やOT（作業療法士）を招き、園内研修を実施している。	専門家からの助言を日常の支援にさらに反映させ、外部研修への参加機会も増やしていく。
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	16		全体会への参加をしている。	子ども部会へ参加機会の確保と情報共有の必要がある。	
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			保育園と定期的に交流保育を行っている。		
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16		連絡帳や送迎時の対話に加え、定期的な面談を通じて発達の状況や家庭での課題を丁寧に共有している。		
34		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16		日々の相談や保護者への学習会を通じ、家庭での関わり方について個別の助言を行っている。	ペアレント・トレーニング等の集団的な家族支援プログラムの定期開催や、情報の体系的な提供が今後の課題である。	
保護者への説明等		35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16		契約説明会実施時に運営規程、利用者負担等は重要事項説明書等に沿いながら説明を行っている。	支援プログラムに関しては、契約説明会実施時に十分に説明をする必要がある。
		36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16		日常の会話や行動観察、保護者アンケート等から意向を把握し計画に反映させている。	
		37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16		計画書を提示しながら説明を行い、同意を得る手続きを行っている。	
		38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16		保護者の悩みに対し、面談や日々のコミュニケーションを通じて助言を行っている。	保護者とゆっくり対話できる時間をさらに確保してほしいというニーズがある。
		39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16		保護者会や土曜参観などを通じ、保護者同士が交流できる機会を設けている。	きょうだい児への支援や交流の場が現状ないため、園庭開放などの実施を検討していく余地がある。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	2	毎月の保護者会等の機会を通じて、相談や申し入れについて適宜対応している。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	2	LINE公式アカウントを導入し、バスの運行状況やお弁当日のリマインド等、迅速で確実な情報伝達を行っている。	日々の活動内容や行事の様子をより視覚的に伝えられるよう、SNSやホームページの更新頻度向上と運用の仕組み作りを進める。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	2	個人情報保護方針に基づき、書類管理の徹底を周知している。	職員の意識に差が見られるため、机上の書類管理や端末の取り扱いについて、改めて内部研修を行い徹底を図る。	
	43	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16		多様な背景を持つ保護者に対し、分かりやすい資料作成や丁寧な聞き取りを行っている。	文字情報だけでなく、イラストや動画なども活用し、より伝わりやすいコミュニケーション手法を模索する。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16		コロナ禍以降、限定的な状況が続いている。	地域住民を招いた行事や、ボランティアの受け入れなどを段階的に検討し、開かれた事業所作りを目指す。	
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16		防災・防犯マニュアルを整備し、定期的な避難訓練を実施して緊急時の動きを確認している。	不審者対応や水害など、多様な場面を想定した訓練のバリエーション化と、マニュアルのさらなる周知を行う。		

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16		避難訓練などの必要な訓練を定期的実施している。	策定済みのBCPに基づき、より実効性の高い訓練内容の精査と職員への周知を継続する。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16		年度始めに研修を行い、薬を使用している子の状況や対応方法を全職員で周知している。	子どもの状況変化に合わせ、最新の情報を常に共有できる体制を維持する。
	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16		医師の指示書に基づき、適切な対応を行っている。	誤食防止に向けたダブルチェックの徹底など、安全管理を継続的に点検する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16		安全管理に必要な措置を講じ、日々の支援を行っている。	安全管理が十分に対策できるよう検討が必要である。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16		安全計画に基づく取組内容を家族へ周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16		毎日の終礼でヒヤリハットを確認・共有しており、共通認識がとりやすくなっている。	共有にとどまらず、再発防止に向けた具体的な方策の検討と実施を徹底する。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16		虐待防止に向けた適切な対応と、職員の意識向上に努めている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16		やむを得ず身体拘束を行う場合について、保護者への事前説明と了解を得ている。		